

4年ぶりに「だんごならし」を行いました

12日(金)に、4年ぶりに逢瀬地区に昔から伝わる「だんごならし」を行いました。

講師は、河内婦人会の皆さんと河内小地域コーディネーターさんをお願いして行いました。

まず、5・6年生が婦人会の皆さんの指導の下、3校時に団子づくりを行いました。まず団子を丸め、そのあとゆでて団子を作りました。5・6年生は、婦人会の皆さんの指導の下、うまく団子を作ることができました。

無事、団子が出来上がり、4校時に全体会を行い、地域コーディネーターさんからだんごならしについての話を聞きました。

だんごならしは小正月に行われている行事であることやミズキの木を使うことや団子に色を着ける意味や団子ならしをどうしてするかなどについて教えてもらいました。



だんごならしは小正月に行われている行事です。ミズキの木の枝に色鮮やかな団子や飾りをつけることで、その年の豊作を祈って飾りつけをしました。

全体会の後、各教室に移動し、教室で（５・６年生は玄関で）ミズキの木に団子をさしたり、飾りつけをしたりしていきました。たくさんの団子があり、何個もつけていきました。飾りつけが終わると婦人会の皆さんと記念に写真を撮りました。とてもよい体験となりました。

今回の団子ならしは４年ぶりだったため、６月に婦人会長さんに依頼し、１２月に婦人会長さん宅を訪問しいろいろと教えてもらうとともに、ミズキの木は逢瀬公民館から提供してもらうなど、地域の皆さんのご協力で実施できました。

逢瀬地区の貴重な伝統文化を体験するとても良い機会となりました。

